

(公財)全国高等学校体育連盟 研究大会 発表題 提出順序

(公財)全国高等学校体育連盟研究部 R5.1.11

年度		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	
開催地		徳島	宮城	富山	鳥根	山梨	滋賀	長崎	青森	長野	鳥取	埼玉	愛知	大分	宮崎	佐賀	関東	近畿	
地域	ブロック	四国	東北	北信越	中国	関東	近畿	九州	東北	北信越	中国	関東	東海	九州	九州	九州	九州	九州	
東	北海道	3				1				2				3				1	
	東北	青森			1				→	2				→	3			1	←
		岩手				2				3				1			2	←	
		宮城		2	←	←		3				1				2			3
		秋田	3				1			2	←			3			1	←	
		山形		3				1				2				3			
		福島	2				3				1				2			3	←
	関東	茨城	1	←			2				3				1				→
		栃木			2				3				1				→	2	
		群馬	3				1				2			3	←			→	1
		埼玉	←			2			3	←	3			←			2		
		千葉			2			3	←			1				2			
		東京			3				1				2				→	3	
		神奈川				→	3				1				2				→
山梨				3		①②③		→	1				2				→	3	
中	北信越	1			2	←			3				1				2		
	富山			1	←			2				3			1	←			
	石川		1				2			3	←			1				2	
	福井		3				1				2				3				
	長野	←		3	←			1		2	←	←		3				→	
	東海	岐阜				1			2	←			3				1		
		静岡				3				1				2			3	←	
		愛知		3				1				2		3	←	←		1	
		三重			2	←			3				→	1				2	
	近畿	滋賀		2				3				1				2			3
		京都			1			2	←			3				1			
		大阪	3			1	←						3				→	1	
		兵庫	1				2				3				1				2
		奈良				1				2	←						1		
和歌山				3					1						3	←		1	
西	中国		1	←			2					3			1			2	
	鳥取											3						2	
	島根			→	2			3	←			1				2			
	岡山		3				1				2			3					
	広島	2			3	←			1				2			3	←		
	山口				1				2				3				1		
	四国	徳島	2	←			3				1				2			3	←
		香川	2			3				1				2			3	←	
		愛媛	3				1				2				3				1
		高知	1				2			3	←			1				2	
	九州	福岡			3				1				2					3	
		佐賀			2				3				1				2		
		長崎			1					2		3	←			→	1		
		熊本				3					1			2	←			→	3
大分			2			3	←				1			2				3	
宮崎			2				3							2					
鹿児島			1			2	←			3					1			2	
沖縄			1				2					3				1			
<ブロック提出発表題数>	1競技力向上	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
・希望による発表*含む	2健康安全	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
・矢印は発表順の変更	3活性化	5	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

全国高体連研究大会・研究発表題提出順序について（申し送り事項）

1. 方針

- (1) 各都道府県は、4年に一度担当する。
- (2) 各都道府県は、第1分科会→第2→第3→第1の順番で研究発表を行う。  
第1分科会「競技力の向上について」(競技力)  
第2分科会「健康と安全について」(健康安全)  
第3分科会「部活動の充実について」(活性化)
- (3) ローテーション枠は、各分科会4題ずつとする(他は公募とする)。
- (4) 開催都道府県の属するブロックが発表できるように配慮する(うち1題は開催県の発表)。
- (5) 公募による発表を受け付ける。
- (6) 発表に際しては、活性化委員会で検討を行い修正等依頼する場合がある。

2. 実施時期

- ・平成9年度(秋田県)全国高体連研究大会から実施する。
- ・平成22年度(兵庫県)全国高体連研究大会から修正し実施する。

※方針の意味

- (1)「3地域、9ブロック、47都道府県」の負担の均一化、機会均等を図る。
- (2)大会を開催する「ブロック及び都道府県」の認知度を高める。
- (3)ローテーションにより、都道府県研究部の研究活動の活性化を図る。
- (4)公募制の導入により、研究活動の活性化を図る。
- (5)同一ブロック内の同分科会発表をできるだけ解消する。

- 注1) 公募による発表を、丸数字(①②③)で示した。
- 注2) 発表演題数は、公募による発表も含めた。
- 注3) 4年周期のローテーションから移動したところは矢印で示した。
- 注4) 移動調整して発表した場合は、その年から新たに4年のカウントが始まる。

令和4年度全体委員会確認事項

○分科会発表における原則が、「4年に一度 公募も認める 開催県は発表」であるため、物理的に無理が生じる。対応するために以下の2項目「全国高体連研究大会分科会ジャッジペーパー担当申し送り事項」を提案する。

- ① 発表都道府県と同ブロックの常任委員は、原則、その分科会のジャッジペーパー担当としない。
- ② ①では物理的に不可能な場合、発表都道府県と重ならない限り、同ブロックの常任委員がその分科会のジャッジペーパー担当となることを認める。